

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和5年（2023年）11月15日（水）

作成者：（課名）市民協働推進課

（氏名）玉田 綾香

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚小学校区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	<p>【基本目標】 宝塚らしい環境景観づくり ①住環境と経済環境がほどよく調和のとれたまち</p> <p>【具体的な取り組み】 39 商業ゾーンと教育文化ゾーンと経済特区を設け、住み続けられるまちづくりを進める。教育文化ゾーンには大学の学部等の誘致を働きかける（コミュニティ）</p>
取組内容の関係課	企画政策課、管財課、都市計画課、商工勤労課

2 対話の状況

(1) 実施概要	
ア 日時：	令和5年（2023年）11月13日 14:00~15:00
イ 場所：	市役所 本庁舎3階 2-3会議室
ウ 出席者：	<p><まちづくり協議会></p> <p>●</p> <p><関係課> 企画政策課 平松課長 管財課 山本課長 都市計画課 谷口課長 商工勤労課 西岡課長</p> <p><協働の取組推進担当次長> 総谷次長</p> <p><市民協働推進課> 立花・玉田</p>
(2) 確認できたこと	
ア 提案の趣旨	住民が日常生活で幸せと感ずるためには、若い世代の人口を増やし、市の財政状況が安定することが大切である。地域の広大な土地を特区の制度を活用することで実現する方策を地域から市へ提案したい。
イ 対話内容 (まち協)	<p>宝小コミュニティの範囲内には川面財産区財産のため池（下の池）がある。 このため池に大学の学部や専門学校を誘致したり、特区の制度を活用し企業を誘致することで、若い世代の住民が増え、地域が活性化し、税収増につながると考えている。和歌山県橋本市では、専門学校を開設することで、若い世代の人口が増加している例もある。 まずは、地域からの提案を市と共有したい。 第7次総合計画に向けて市と地域が共に考えていきたい。 (企画政策課) 広い土地を経済（企業や商業）に特化したエリアにすることは、印象として良いアイデアと思う。 一方で、地域の合意形成も必要であると感じた。 特区の制度については研究しておく。</p>
ウ 今後の対応	第7次総合計画に向け、今後協議することとする。